

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第116回)

2025年10～12月期 実績

2026年1～3月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 【参考】現在直面している経営課題の指摘率	10
8つの選択肢に対する回答状況（3つまで選択可）	
(5) 比較資料編	11
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2025年12月
- ② 調査対象期間 今期（2025年10～12月期）に対する前期（2025年7～9月期）及び前年同期（2024年10～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全体	270	→	226	83.7 (%)
輸送機器	40	→	34	85.0 (%)
その他製造	40	→	39	97.5 (%)
建設業	50	→	45	90.0 (%)
卸売業	30	→	26	86.7 (%)
小売業	40	→	32	80.0 (%)
サービス業	70	→	50	71.4 (%)

5. DI値について

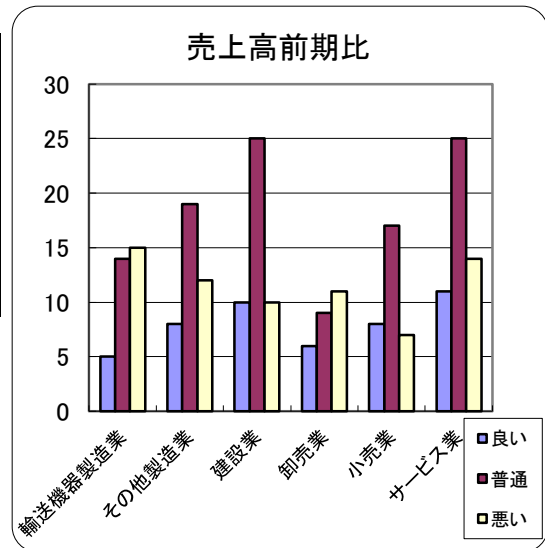
DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、DI値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

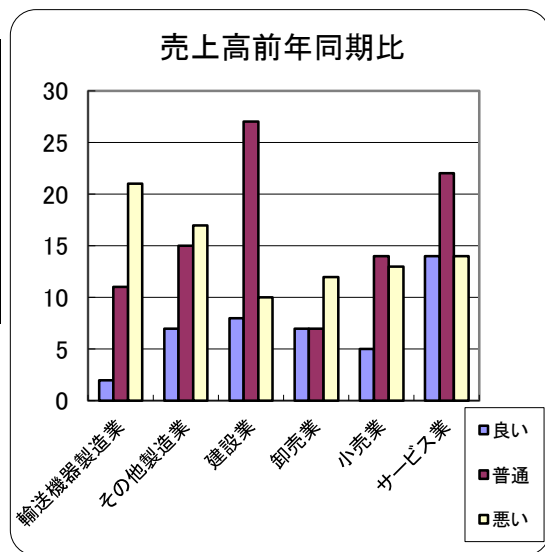
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	14	15	34	▲ 29.4
その他製造業	8	19	12	39	▲ 10.3
建設業	10	25	10	45	0.0
卸売業	6	9	11	26	▲ 19.2
小売業	8	17	7	32	3.1
サービス業	11	25	14	50	▲ 6.0
合計	48	109	69	226	▲ 9.3



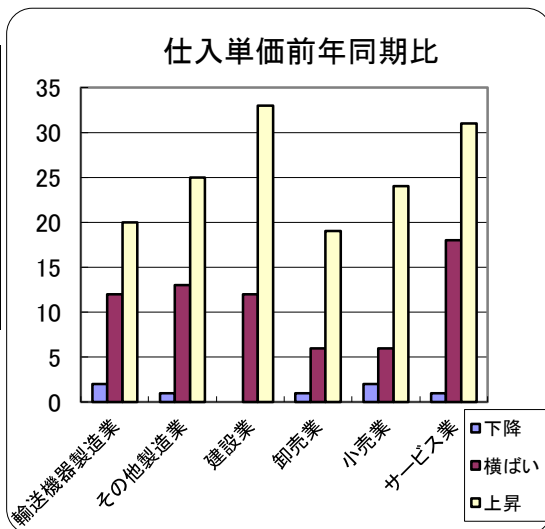
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	11	21	34	▲ 55.9
その他製造業	7	15	17	39	▲ 25.6
建設業	8	27	10	45	▲ 4.4
卸売業	7	7	12	26	▲ 19.2
小売業	5	14	13	32	▲ 25.0
サービス業	14	22	14	50	0.0
合計	43	96	87	226	▲ 19.5



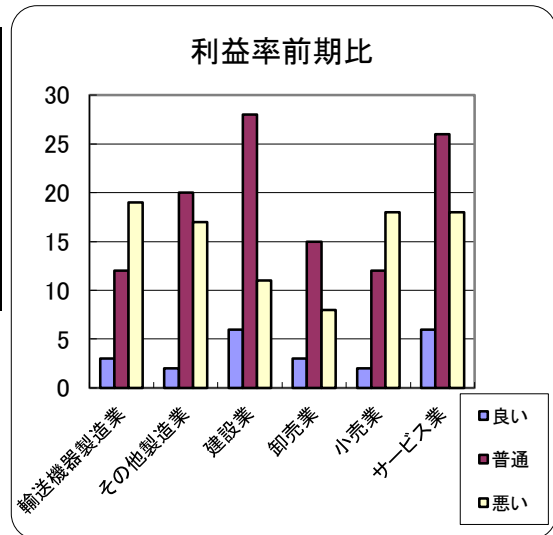
仕入単価前年同期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	2	12	20	34	▲ 52.9
その他製造業	1	13	25	39	▲ 61.5
建設業	0	12	33	45	▲ 73.3
卸売業	1	6	19	26	▲ 69.2
小売業	2	6	24	32	▲ 68.8
サービス業	1	18	31	50	▲ 60.0
合計	7	67	152	226	▲ 64.2



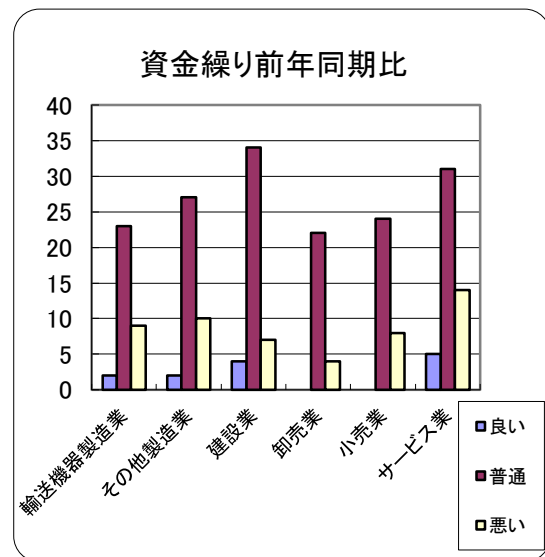
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	12	19	34	▲ 47.1
その他製造業	2	20	17	39	▲ 38.5
建設業	6	28	11	45	▲ 11.1
卸売業	3	15	8	26	▲ 19.2
小売業	2	12	18	32	▲ 50.0
サービス業	6	26	18	50	▲ 24.0
合計	22	113	91	226	▲ 30.5



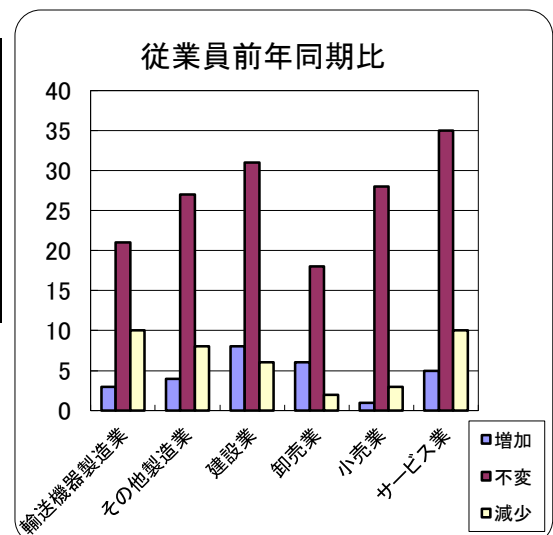
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	23	9	34	▲ 20.6
その他製造業	2	27	10	39	▲ 20.5
建設業	4	34	7	45	▲ 6.7
卸売業	0	22	4	26	▲ 15.4
小売業	0	24	8	32	▲ 25.0
サービス業	5	31	14	50	▲ 18.0
合計	13	161	52	226	▲ 17.3



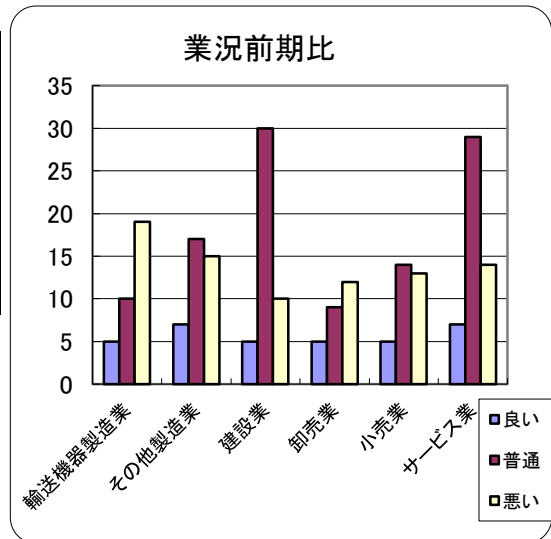
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	3	21	10	34	▲ 20.6
その他製造業	4	27	8	39	▲ 10.3
建設業	8	31	6	45	▲ 4.5
卸売業	6	18	2	26	▲ 15.4
小売業	1	28	3	32	▲ 6.3
サービス業	5	35	10	50	▲ 10.0
合計	27	160	39	226	▲ 5.3



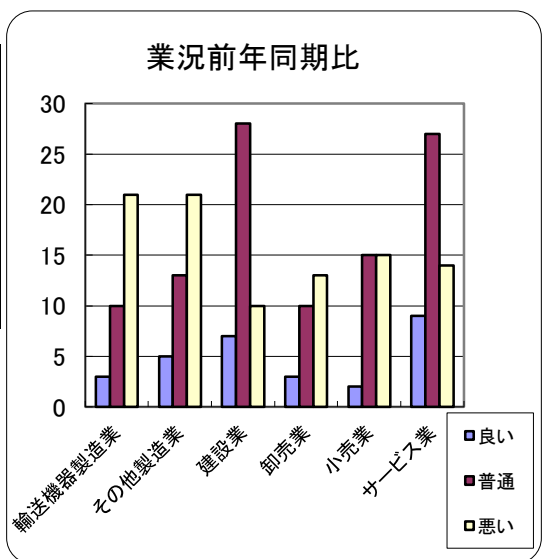
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	10	19	34	▲ 41.2
その他製造業	7	17	15	39	▲ 20.5
建設業	5	30	10	45	▲ 11.1
卸売業	5	9	12	26	▲ 26.9
小売業	5	14	13	32	▲ 25.0
サービス業	7	29	14	50	▲ 14.0
合計	34	109	83	226	▲ 21.7



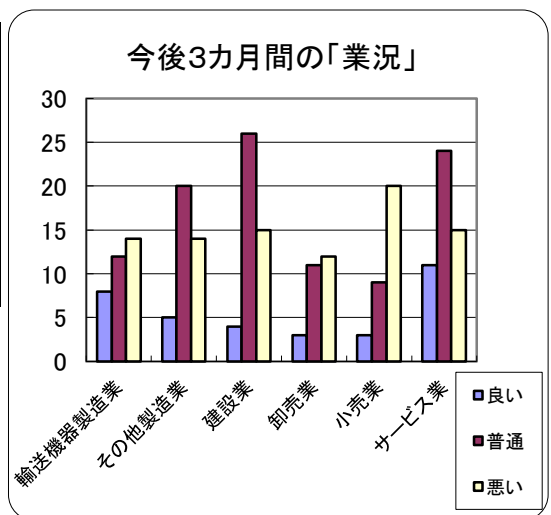
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	10	21	34	▲ 52.9
その他製造業	5	13	21	39	▲ 41.0
建設業	7	28	10	45	▲ 6.7
卸売業	3	10	13	26	▲ 38.5
小売業	2	15	15	32	▲ 40.6
サービス業	9	27	14	50	▲ 10.0
合計	29	103	94	226	▲ 28.8



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	12	14	34	▲ 17.7
その他製造業	5	20	14	39	▲ 23.1
建設業	4	26	15	45	▲ 24.4
卸売業	3	11	12	26	▲ 34.6
小売業	3	9	20	32	▲ 53.1
サービス業	11	24	15	50	▲ 8.0
合計	34	102	90	226	▲ 24.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 28.1	▲ 29.4	▲ 1.3
売上高前年同期比	▲ 46.9	▲ 55.9	▲ 9.0
仕入単価前年同期比	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 15.4
利益率前期比	▲ 46.9	▲ 47.1	▲ 0.2
資金繰り前年同期比	▲ 25.0	▲ 20.6	4.4
従業員前年同期比	▲ 9.4	▲ 20.6	▲ 11.2
業況前期比	▲ 31.3	▲ 41.2	▲ 9.9
業況前年同期比	▲ 50.0	▲ 52.9	▲ 2.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 56.3	▲ 17.7	38.6

[企業コメントより]

- ・要員確保に苦慮しています【車体部品製造】
- ・自動車関連の開発が極端に少ないが、他の業界も仕事が少ないので手の打ちようがないのが現状です。
【部品用金型製造】
- ・仕事の受注が集中してきている。ないところはない。あるところにはある。その差が激しくなっている。
【金属部品加工】
- ・仕入原材料及び運賃の高騰(が厳しい)【プラスチック部品加工】
- ・仕事量は横ばい(やや下降)だが、人件費上昇と諸経費高騰が経営を圧迫している。仕事内容が変わりつつあるが、仕事量は横ばいにて今後の先行きは不透明【パイプ部品加工】
- ・採用、育成が課題(となっている)【プレス加工】

その他製造業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 3.0	▲ 10.3	▲ 7.3
売上高前年同期比	▲ 15.2	▲ 25.6	▲ 10.4
仕入単価前年同期比	▲ 42.4	▲ 61.5	▲ 19.1
利益率前期比	▲ 24.2	▲ 38.5	▲ 14.3
資金繰り前年同期比	▲ 24.2	▲ 20.5	3.7
従業員前年同期比	▲ 6.1	▲ 10.3	▲ 4.2
業況前期比	▲ 6.1	▲ 20.5	▲ 14.4
業況前年同期比	▲ 27.3	▲ 41.0	▲ 13.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 33.3	▲ 23.1	10.2

[企業コメントより]

- ・当面の間、急いで人材育成をしなければならない。従業員の高齢化のためである【ニット製品製造】
- ・製品価格に転嫁(したい)【繊維製品製造】
- ・経済活動は徐々に活発化し、明るい兆しが見え始めてきているが、実態は前政権の無策が影響しているため悪いままである。ガソリン価格は下がったものの、その効果を感じるのには2~3か月後だろう。人件費アップ(最低賃金の上昇が影響)や金利の上昇で収益を圧迫する見込みである【食品製造】
- ・今期はスポット的に売り上げが伸びたが、上半期の低迷を回復できていない。2026年も25年より良くなるという会社さんは少ないように感じる。もう少し会社をアピールできるようにホームページをリニューアルしたり、展示会への参加も考えている【プラスチック製品加工】
- ・資材費の値上がり、受注の低下により厳しい状況が続いている【物流資材等製造】

建設業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 2.4	0.0	2.4
売上高前年同期比	▲ 9.8	▲ 4.4	5.4
仕入単価前年同期比	▲ 73.2	▲ 73.3	▲ 0.1
利益率前期比	▲ 36.6	▲ 11.1	25.5
資金繰り前年同期比	▲ 7.3	▲ 6.7	0.6
従業員前年同期比	12.2	4.5	▲ 7.7
業況前期比	▲ 7.3	▲ 11.1	▲ 3.8
業況前年同期比	▲ 19.5	▲ 6.7	12.8
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 24.4	▲ 24.4

[企業コメントより]

- ・東毛地域の公共工事量が減少傾向にある【土木工事】
- ・建設労働者の絶対的人数が不足し、発注(公共工事)量も減少している【総合建設】
- ・(目標は)地道に社員の成長を促すのみかと(考えます)【総合建設】
- ・業況は横ばいだが、材料費や人件費の高騰が続き利益率は低下。人手不足と高齢化も進む中、生産性の向上と業務の合理化を進めたい【建設付帯工事】
- ・北関東はとにかく現場数が少ない【建設付帯工事】
- ・今後低調が予想されるため、工事エリアを拡大中【電気工事】
- ・高齢になりましたので出来る範囲でやっています【建設付帯工事】

卸売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 26.9	▲ 19.2	7.7
売上高前年同期比	▲ 34.6	▲ 19.2	15.4
仕入単価前年同期比	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 7.7
利益率前期比	▲ 34.6	▲ 19.2	15.4
資金繰り前年同期比	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 7.7
従業員前年同期比	3.9	15.4	11.5
業況前期比	▲ 38.5	▲ 26.9	11.6
業況前年同期比	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 7.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.2	▲ 34.6	▲ 15.4

[企業コメントより]

- ・原材料など仕入れ価格が上昇しているため、取引先に価格の見直しのご理解を頂く努力をしていますが、他社との競合もありますので状況を見極める必要が有ります【物流資材卸】
- ・商品の価格上昇が著しく、加えて一部欠品も発生し、供給不足が始まっている感あり【電気関係資材卸】
- ・新サービスの開発(に注力する)【事務機器販売卸】
- ・住宅リフォーム補助金について。(趣旨)前年度は4月~12月近くあったのに今年度は早く終了した。10月頃補正予算が有ると聞いたが通知が来ない。得意先から工事受注が有ったために失望された。【建設資材卸】
- ・キャッシュレス決済の導入。部門を超えた顧客づくり(に取り組んでいる)【生活支援資材サービス】
- ・事業承継の件【事務機器卸】
- ・新規ビジネスについては売上増だが、従来のプラスチックリサイクル事業は販売低調。新規ビジネスの拡大に期待している【プラスチック資材卸】
- ・自動車業界の生産が厳しいため影響を受けている状態【金型部品卸】

小売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	3.1	3.1
売上高前年同期比	3.5	▲ 25.0	▲ 28.5
仕入単価前年同期比	▲ 69.0	▲ 68.8	0.2
利益率前期比	▲ 55.2	▲ 50.0	5.2
資金繰り前年同期比	▲ 10.3	▲ 25.0	▲ 14.7
従業員前年同期比	▲ 17.2	▲ 6.3	10.9
業況前期比	▲ 17.3	▲ 25.0	▲ 7.7
業況前年同期比	▲ 17.2	▲ 40.6	▲ 23.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.1	▲ 53.1	▲ 29.0

[企業コメントより]

- ・銀行の借入金に対する金利が上昇している為、経費増の状況が続いている【各種钣金設計・用品等販売】
- ・業況は上向きですが、昨年来の求人難、経費増は今後の業績に影を落としております【化粧品販売】
- ・食品・菓子の問屋さんが市内にほとんど無くて、足利、前橋、時には宇都宮まで仕入れに行きます。燃料代、時間がかかり非効率・経費増。そのうち大型店だけになってしまうかも？【飲料販売】
- ・余分に仕入れをしない。エアコンの 設定温度 を下げる(ことに努める)。商品陳列アイテム が減ったが、賞味期限切れを起こさないため仕方がない【飲料販売】
- ・もち米が2倍になり、売値が1.5倍としたので、今後の売上に響いてくるものと思われる【菓子製造販売】
- ・仕入単価は下降しているが、買入価格が高価な時の在庫があるため、仕入はストップしている【米穀販売】
- ・新規顧客の獲得や売上は伸びているが利益は上がらず、(かといって)売値をあげる訳にも行かず、矛盾を感じるが深く考えず、とにかく楽しくやっ行って行こうと思う【化粧品販売】
- ・景況に左右されやすい業界のため、売り上げの減少が続いている。削減できる経費も目処が立たない状況で大変苦しい経営状態である【花卉販売】
- ・実店舗の業績はいいが、送料無料のネットショップがますます増えて来て利益率が下がってきている。どうする！？【嗜好品販売】

サービス業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 6.0	▲ 6.0
売上高前年同期比	1.9	0.0	▲ 1.9
仕入単価前年同期比	▲ 61.5	▲ 60.0	1.5
利益率前期比	▲ 44.2	▲ 24.0	20.2
資金繰り前年同期比	▲ 30.8	▲ 18.0	12.8
従業員前年同期比	▲ 3.8	▲ 10.0	▲ 6.2
業況前期比	▲ 25.0	▲ 14.0	11.0
業況前年同期比	▲ 21.2	▲ 10.0	11.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 17.3	▲ 8.0	9.3

[企業コメントより]

- ・ほとんどの業界で人材確保には苦慮している。高卒も困難で中途が現状ではメインである【広告代理店】
- ・原材料の度重なる高騰のため売価を上げたいのですが、なかなか簡単には出来ないのが現状です【レストラン】
- ・米の高騰により、原材料費が高く、売上は横ばいだが利益率等が最悪【食品製造販売】
- ・ケータリング業といたしまして、アクセス良く、いい商品を提供する事が急務と考えます。配達してサービスの提供に付加価値を構築したいと考えます。新商品、新原材料の発見に注視し、差別化に取り組みたいと考えます【ケータリング業】

- 自動車業界低迷により弊社主取扱品のスクラップ発生量減のため、売り上げの大幅減で利益も大幅減になる状況。自動車業界は1次下請は仕事が維持できているが、2次下請、3次下請は仕事量が大幅に減少しており、これに比例して(スクラップの)取扱量は少ない状況で、今後の行方が心配で仕方がない【金属資源回収】
- 介護保険のシステムでの上限価格の引き下げが毎年あり、利益率が低くなっている現状です。原材料高も併せて価格転嫁が難しく、他のサービスも視野に入れてこの先を考えていく方向です【介護サービス】
- 昨年と同じやり方で広告を出しても、応募すら無い状況で求人に苦慮しています【運送業】
- 原材料(の値上がり)が異常です！【飲食業】
- 最低賃金上昇に対して、価格転嫁が進んでいない。人材不足、働き方改革により労働力の低下(が心配)。【不動産】

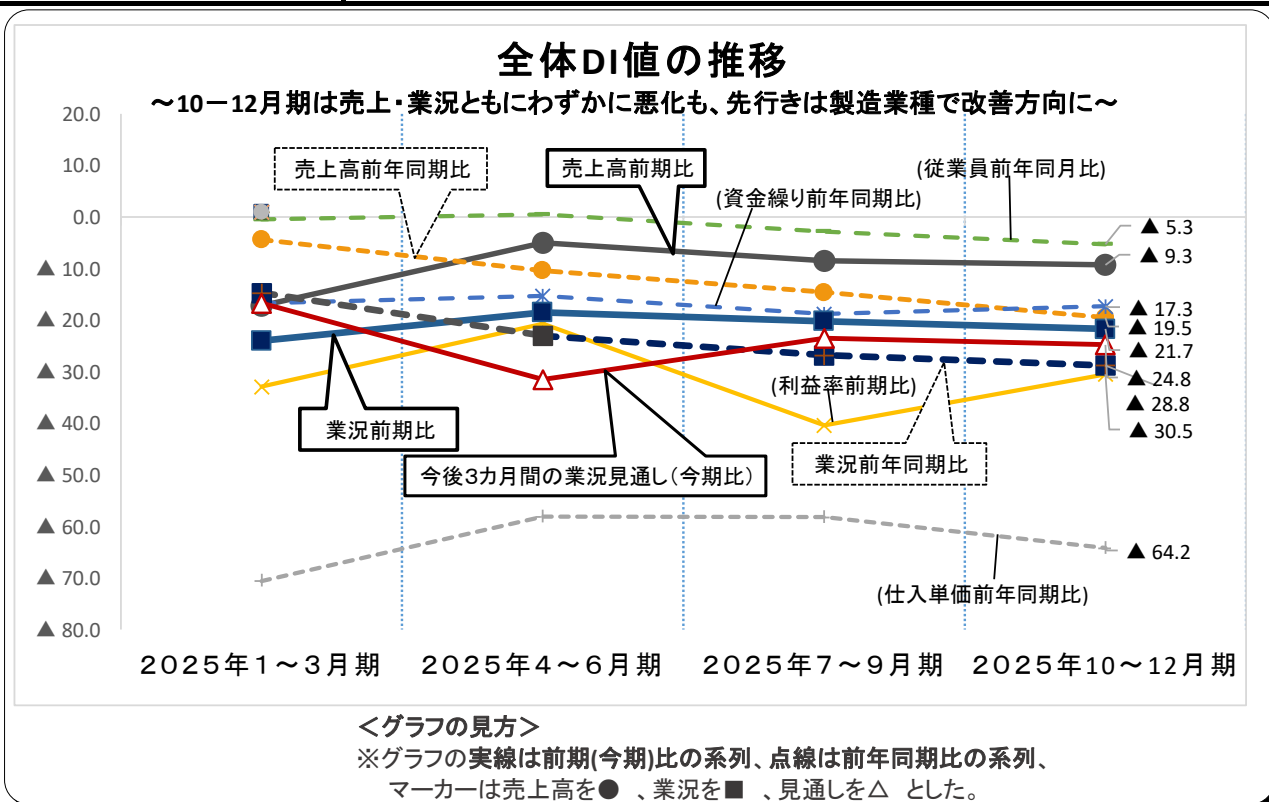
(3)全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 0.8
売上高前年同期比	▲ 14.6	▲ 19.5	▲ 4.9
仕入単価前年同期比	▲ 58.2	▲ 64.2	▲ 6.0
利益率前期比	▲ 40.4	▲ 30.5	9.9
資金繰り前年同期比	▲ 18.8	▲ 17.3	1.5
従業員前年同期比	▲ 2.8	▲ 5.3	▲ 2.5
業況前期比	▲ 20.2	▲ 21.7	▲ 1.5
業況前年同期比	▲ 26.8	▲ 28.8	▲ 2.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 23.5	▲ 24.8	▲ 1.3

<動向について>

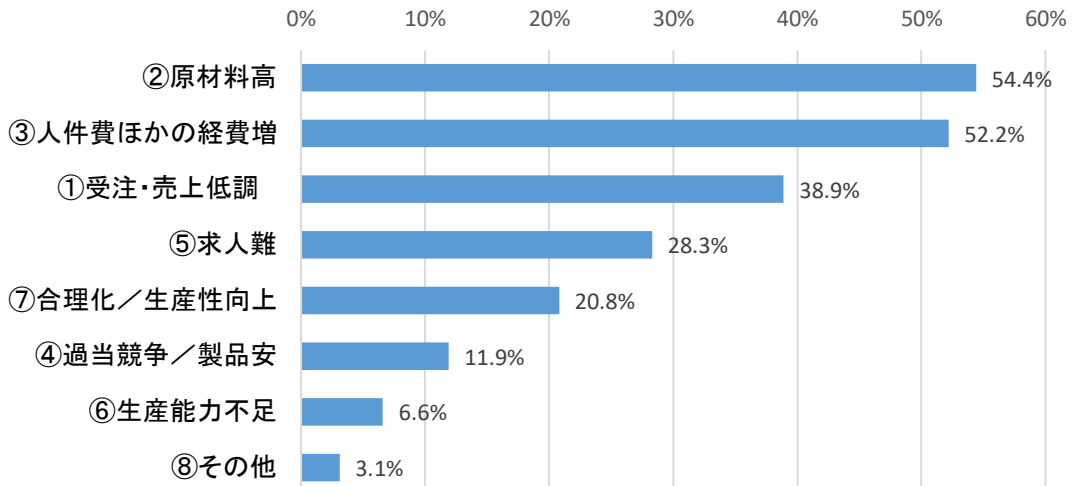
- ・7年10~12月期の売上・業況DI値は全業種ベースではほぼ横ばいながらわずかに悪化。業種別には小売業が前年同期比DIの落ち込み幅大、輸送機器とその他製造業(以下、製造業種)もやや悪化した。
- ・仕入価格DIは全業種ベースでは前回比悪化した一方で利益率DIは上昇、製造業種以外の業種は全て改善方向に動いた。前期調査の大幅悪化の反動や、ガソリンの値下がり効果等の要因が考えられる。
- ・今後3か月の業況見通しは、全業種ベースでは▲1.3ポイントと小幅に悪化した。業種別にみると今期悪化した製造業種が一転し改善を見込んでいる。

全体DI値の推移	2025年1~3月期	2025年4~6月期	2025年7~9月期	2025年10~12月期
売上高前期比	▲ 17.2	▲ 5.0	▲ 8.5	▲ 9.3
売上高前年同期比	▲ 4.4	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 19.5
仕入単価前年同期比	▲ 70.6	▲ 58.1	▲ 58.2	▲ 64.2
利益率前期比	▲ 32.9	▲ 20.7	▲ 40.4	▲ 30.5
資金繰り前年同期比	▲ 16.7	▲ 15.3	▲ 18.8	▲ 17.3
従業員前年同期比	▲ 0.5	0.5	▲ 2.8	▲ 5.3
業況前期比	▲ 24.0	▲ 18.5	▲ 20.2	▲ 21.7
業況前年同期比	▲ 14.7	▲ 23.0	▲ 26.8	▲ 28.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.7	▲ 31.5	▲ 23.5	▲ 24.8



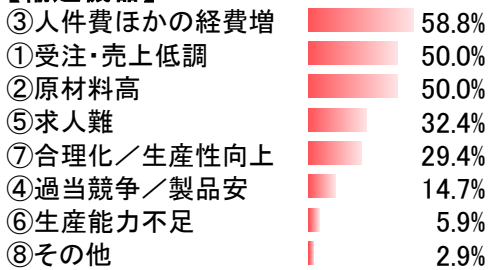
(4)【参考】現在直面している経営課題の指摘率～全業種

(各事業所3つまで選択、総数213件に対する割合)

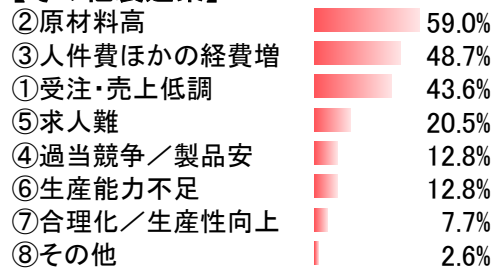


<業種別>

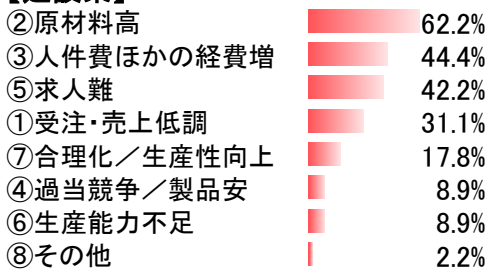
【輸送機器】



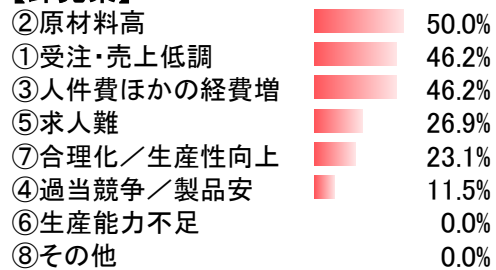
【その他製造業】



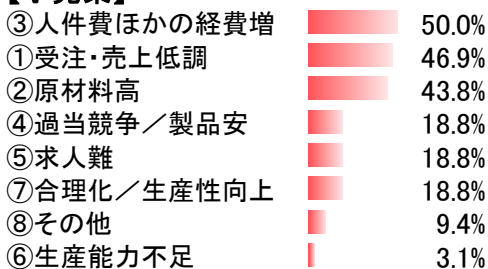
【建設業】



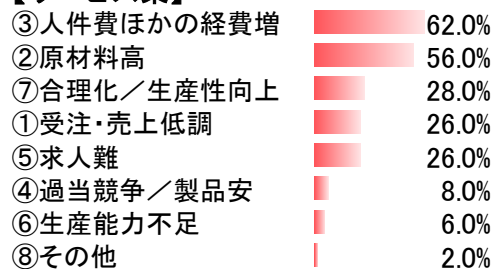
【卸売業】



【小売業】



【サービス業】



(5) 比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、10～12月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 19.2	▲ 9.3	-	-
建設業	0.0	▲ 7.4	-	-
卸売業	▲ 19.2	▲ 8.4	-	-
小売業	3.1	▲ 20.6	-	-
サービス業	▲ 6.0	▲ 4.7	-	-
全体	▲ 9.3	▲ 10.2	-	-

(売上高・前年同期比)

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 39.7	-	▲ 4.8	2.0
建設業	▲ 4.4	-	▲ 7.7	
卸売業	▲ 19.2	-	▲ 10.4	1.0
小売業	▲ 25.0	-	▲ 10.4	
サービス業	0.0	-	4.9	
全体	▲ 19.5	-	▲ 4.5	1.2

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前年同期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 57.5	-	▲ 57.3	-
建設業	▲ 73.3	-	▲ 65.1	-
卸売業	▲ 69.2	-	▲ 59.6	-
小売業	▲ 68.8	-	▲ 67.1	-
サービス業	▲ 60.0	-	▲ 62.0	-
全体	▲ 64.2	-	▲ 62.0	-

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 42.5	▲ 21.1	▲ 17.6	▲ 3.3
建設業	▲ 11.1	▲ 18.3	▲ 14.0	
卸売業	▲ 19.2	▲ 18.1	▲ 20.1	
小売業	▲ 50.0	▲ 31.1	▲ 24.5	▲ 6.6
サービス業	▲ 24.0	▲ 19.9	▲ 15.2	
全体	▲ 30.5	▲ 22.6	▲ 18.0	▲ 5.8

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 20.5	▲ 14.2	▲ 15.0	7.0
建設業	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 6.8	
卸売業	▲ 15.4	▲ 10.8	▲ 10.3	
小売業	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 18.2	12.0
サービス業	▲ 18.0	▲ 10.6	▲ 11.2	
全体	▲ 17.3	▲ 13.1	▲ 12.7	10.0

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.1	▲ 6.0	—	—
建設業	4.5	▲ 4.8	—	—
卸売業	15.4	▲ 0.3	—	—
小売業	▲ 6.3	▲ 3.7	—	—
サービス業	▲ 10.0	▲ 3.1	—	—
全体	▲ 5.3	▲ 4.1	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 30.1	▲ 17.8	—	6.0
建設業	▲ 11.1	▲ 8.7	—	22.0
卸売業	▲ 26.9	▲ 15.6	—	4.0
小売業	▲ 25.0	▲ 28.4	—	8.0
サービス業	▲ 14.0	▲ 13.2	—	18.0
全体	▲ 21.7	▲ 17.5	—	12.0

(業況・前年同期比)

(サービス業は宿泊・飲食の数字)

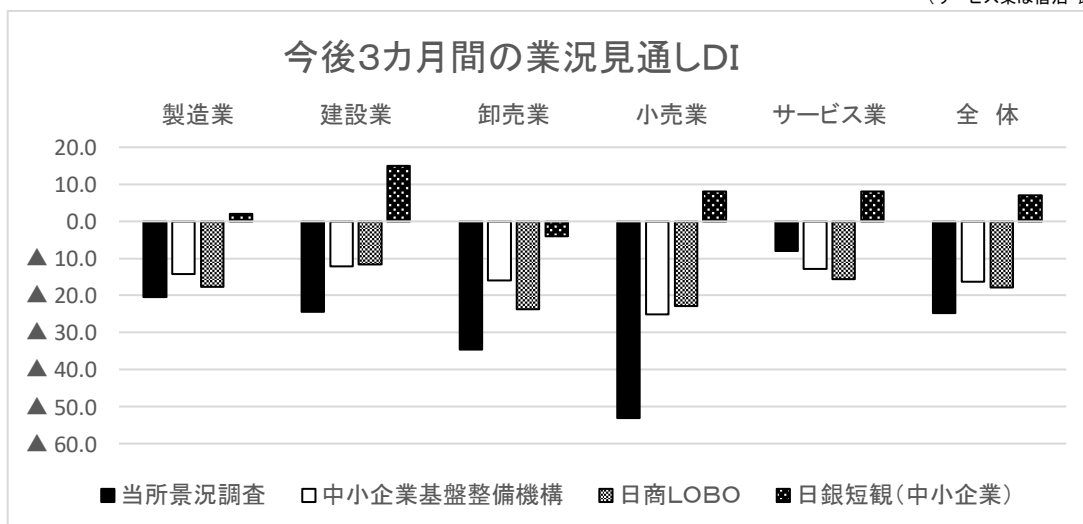
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 46.6	—	▲ 20.8	—
建設業	▲ 6.7	—	▲ 14.9	—
卸売業	▲ 38.5	—	▲ 24.1	—
小売業	▲ 40.6	—	▲ 26.6	—
サービス業	▲ 10.0	—	▲ 9.2	—
全体	▲ 28.8	—	▲ 18.3	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.5	▲ 14.2	▲ 17.6	2.0
建設業	▲ 24.4	▲ 12.1	▲ 11.7	15.0
卸売業	▲ 34.6	▲ 15.9	▲ 23.8	▲ 4.0
小売業	▲ 53.1	▲ 25.1	▲ 22.8	8.0
サービス業	▲ 8.0	▲ 12.9	▲ 15.6	8.0
全体	▲ 24.8	▲ 16.3	▲ 17.8	7.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2026年（令和8年）2月 日 発行